

家計のライフプラン設計・アドバイスのための金融情報の「見える化」について

2025年4月15日



金融庁

Financial Services Agency, the Japanese Government

家計に対するアドバイスの流れ

- 一人ひとりの状況に寄り添って、ライフプラン設計のアドバイスを行うためには、**ストック・フローについて**の家計の「**現状把握**」が必要。

ご相談の流れ

STEP 01 希望確認

FPと悩みや希望を話し合います

なにをどうしたいのかをFPと一緒に考え、夢や目標を具体的にしていきます。

STEP 02 現状把握

FPが家計について確認します

家族構成、収入や支出、預金・資産、ローン、保険などの現状をFPが確認します。

STEP 03 分析・評価

FPが家計の状況をチェックします

現状でムダや無理がないか、このままの家計で夢や目標がかなえられるかななどをFPが専門家の視点で検証します。

STEP 04 プラン作成

FPとベストなプランを作ります

改善策などを具体的に織り込んだファイナンシャル・プランをFPが提案し、相談者がFPと話し合いながら、ベストなプランを決定します。

STEP 05 実行の支援

手続きなどもFPがサポートします

改善策を実行するにあたり、各種手続きや各分野の専門家への紹介などのアドバイスも必要に応じて行います。

Q)FP相談に行くときに準備しておくといものはありますか？

A)家計状況が確認できるものを準備しておくといでしょう。相談内容によって、準備するものは異なりますが、現在の家計状況を点検する必要がありますので、家計簿や収支・貯蓄状況、ローン返済状況がわかるもの、保険証券などを準備しておくといでしょう。

ヒアリングシートのイメージ（例）

家族構成

	氏名	性別	生年月日	．．．
ご本人様				
配偶者様				
お子様 1				
．．．				

収入

	職業	年収	退職年齢	．．．
ご本人様		●万円	●歳	
配偶者様		●万円	●歳	

支出

	金額等
生活費	月●万円
住居費（持ち家）	住宅ローン残高●万円 ローン金利●% 返済期間●年
住居費（賃貸）	家賃・管理費●万円
借入金	借入金残高●万円 ローン金利●% 返済期間●年
保険料	月●万円（●歳まで）
．．．	

保有金融資産

	金額
銀行預金	●万円
国内株式	●万円
国内債券	●万円
外国株式	●万円
外国債券	●万円
．．．	

生命保険

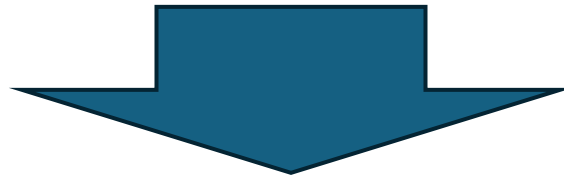
	保障金額	契約満了年齢	．．．
定額保険			
終身保険			
．．．			

ライフプラン情報

	金額	希望年齢等
リフォーム	●万円	●歳まで
マイカー購入	●万円	●歳まで
海外旅行	●万円	3年に1回
．．．		

アドバイスを行う際に必要な情報・データ

- 多様な事業者に分散する**家計の金融データを集約・「見える化」**することができれば、一人ひとりが自身のライフプランを設計・点検することや、そのためのアドバイスを提供することが容易に。



「見える化」された金融データをもとに、
一人ひとりのライフプラン設計・実行支援をサポート

ステップ 講師派遣(出張授業)、イベント・セミナー

1

金融経済教育の機会を提供し、
ライフプラン・家計管理・資産形成などの重要性について理解していただく。

J-FLEC
(J-FLEC講師他)

ステップ 「J-FLECはじめてのマネープラン」無料体験

2

1時間の無料相談体験を通じて、自分自身が取るべき具体的な行動を知っていただく。
また、お金に関するアドバイスの価値や意義を認識していただく。

J-FLEC
(J-FLEC相談員)

ステップ 「J-FLECはじめてのマネープラン」割引クーポン

3

相談料の割引クーポンを配布することによって、実際にお金に関するアドバイスを受
けるきっかけとしていただく。そして、自分自身が取るべき具体的な行動について
の理解を深めていただく。

クーポン対象事業者
(J-FLEC認定アドバイザー)

個人の金融意識・
金融行動の変容

一人ひとりが描くファイナンシャル・
ウェルビーイングの実現

□「割引クーポン配布事業」の対象となる個別相談は、次の①から⑤までを対象とし、**最長で3時間利用**できます。

!!! 重要ポイント !!!

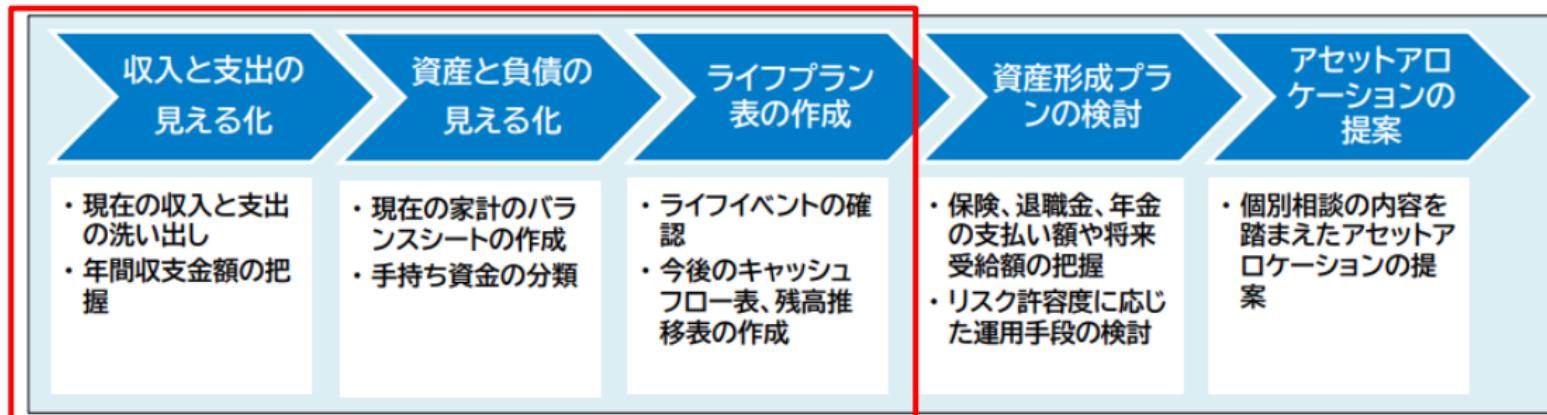
【①「収入と支出の見える化」、②「資産と負債の見える化」、③「ライフプラン表の作成」】

・割引クーポンの適用対象となるためには、**これらは必ず相談内容に含まれる必要があります。**

【④「資産形成プランの検討」、⑤「アセットアロケーションの提案」、その他専門分野での提案】

- ・これらは、上記①から③により作成・見直しされたライフプラン表に基づき提案を受けることが可能です。
- ・⑤は、金融資産（預貯金、株式、債券、投資信託等）の種類・配分調整を対象とし、不動産は含まれません。また、⑤に代えて、当該ライフプラン表に基づく、利用者の皆様にとって有用と考えられる各認定アドバイザーの専門分野（例：不動産、ローン、相続など）でのご提案を受けることも可能です。

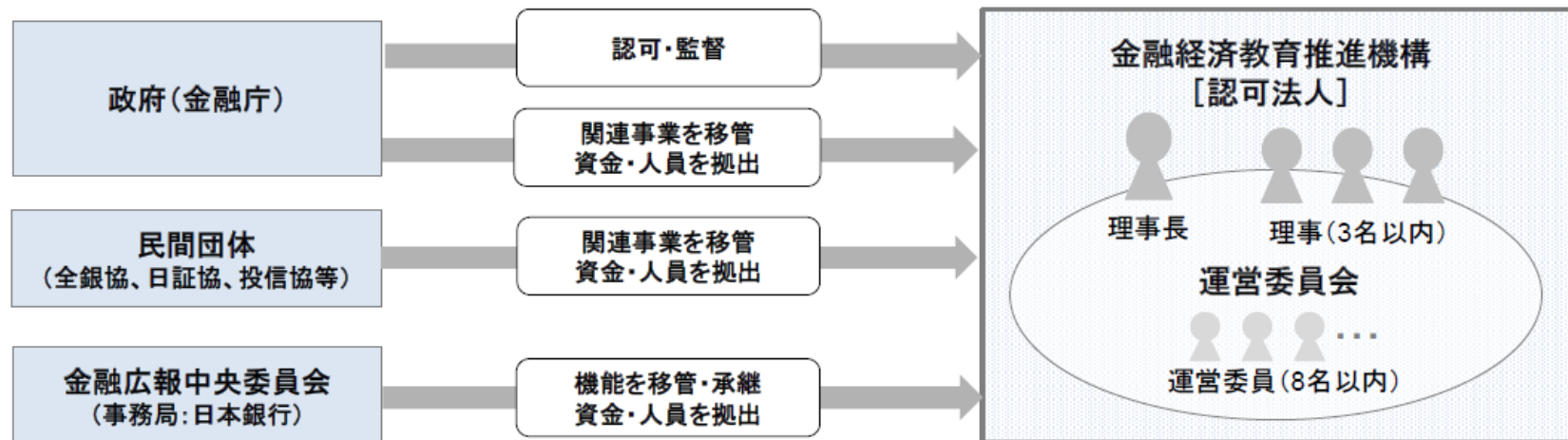
【3時間分の個別相談の内容(例)】



相談内容には赤枠内の内容が含まれることが条件

(参考)金融経済教育の充実に向けた取組

- **金融経済教育推進機構（J-FLEC）**を2024年4月に設立。同年8月より本格稼働。
- 国全体として、中立的な立場から金融経済教育を推進。



※ 都道府県金融広報委員会、日証協地区協会、各地銀行協会等の地方組織と連携。

【主要な事業】

- 講師派遣事業**
 - 官民一体となって、「学びの場」づくりを強化。
 - 企業の従業員向けセミナーの充実。
 - 学校・教員支援の強化。
- イベント・セミナー事業**
- 個別相談事業**
 - 「家計管理」「生活設計」「資産形成」等に関し、個人の状況に応じたアドバイスを提供。
- 認定アドバイザー事業**
 - 特定の金融事業者・金融商品に偏らないアドバイスを行うアドバイザーを認定・公表・支援。